Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第15回（7/31）　清水馨先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1*経営学入門* 著：十川廣國　出版社：中央経済社

Book2*経営戦略論* 編著：十川廣國　出版社：中央経済社

Book3*経営組織論* 編著：十川廣國　出版社：中央経済社

コメント：上記3冊は、経営学の理論の基本を押さえてあり、入門書としてお薦めする。

Book4*能力構築競争　日本の自動車産業はなぜ強いのか*

著：藤本隆宏　出版社：中央公論社

コメント：日本のモノづくりを徹底的に調査して導いた理論。新書版で読みやすい。情報を転写していない時間は無駄という発想から、あらゆる産業、そして私たちの生活にも敷衍可能だ。人を待たせてないか、仕事を待たせてないか、自分が待たされてないか。耳が痛い良書。

Book5*学習する組織　システム思考で未来を創造する*

著：ピーター・M. センゲ　出版社：英治出版

人々の創造性を引き出すのが組織ならばそれを阻害するのも組織。停滞する理由を探りその解決策を示す良書である。組織にいると思わず納得するばかり。教職員にもお薦め。

Book6*変革型ミドルの探求　戦略・革新指向の管理者行動*

著：金井寿宏　出版社：白桃書房

コメント：すでに20年以上前の本となったが、リーダーシップを理解し勉強するにはこれが一番。そして実践してもらいたい。

Book7

組織の条件適応理論

著：P・R・ローレンス　ジェイ・ウィリアム・ローシュ　出版社：産業能率大学出版部

Book8*日本の企業組織革新的適応のメカニズム　長期取引関係の構造と機能* 著：浅沼万里　出版社：東洋経済新報社

Book9*折り返し点　1997～2008*

著：宮崎駿　出版社：岩波書店

コメント：宮崎駿の多面的かつ良い意味で中途半端な思想に触れられる逸品。人間の本質を見事に突いている。組織の本質を理解するには、人間の本質を理解しなければ。本が苦手なら「もののけ姫」を観るべし。自然と人間という単純な対立ではない、欲と欲の対立、良心と良心の対立。良い人でありながら、組織の命令には善悪の判断を無視して己のために突っ走る普通の人々。宮崎作品は、津波や原子力をテーマにしたものが多い。「未来少年コナン」「風の谷のナウシカ」など。